

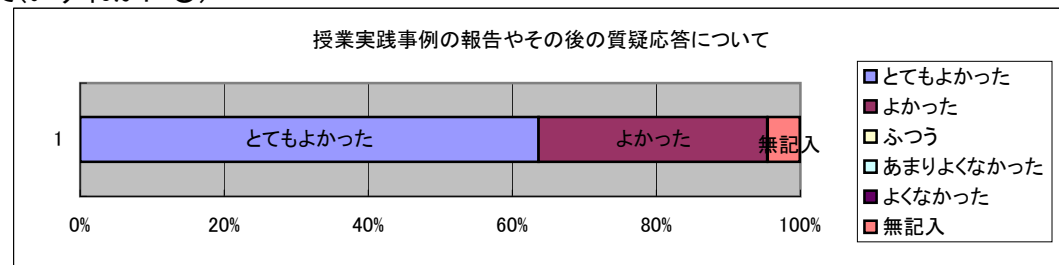
「大学授業研究会」アンケート(第2回10月1日)

健康スポーツ学科：中西 匠先生 健康生命薬科学科：篠塚 和正先生

|           |       |
|-----------|-------|
| 参加人数      | 39    |
| アンケート回収枚数 | 22    |
| アンケート回収率  | 56.4% |

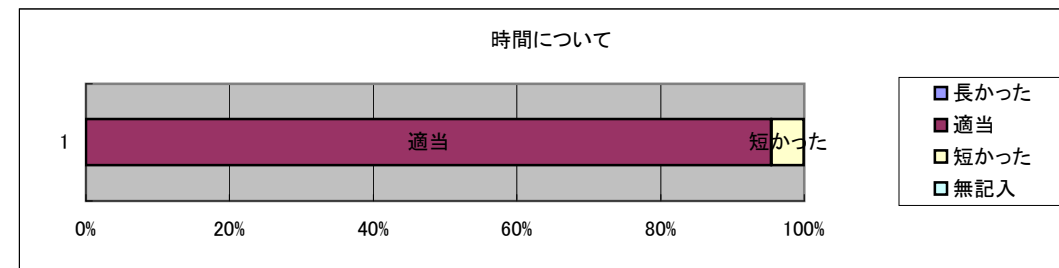
1. 授業実践事例の報告やその後の質疑応答について(いずれかに○)

|           |    |
|-----------|----|
| とてもよかった   | 14 |
| よかった      | 7  |
| ふつう       | 0  |
| あまりよくなかった | 0  |
| よくなかった    | 0  |
| 無記入       | 1  |



2. 時間について(いずれかに○)

|      |    |
|------|----|
| 長かった | 0  |
| 適当   | 21 |
| 短かった | 1  |
| 無記入  | 0  |



3. 自由記述コメント 20件

今後の授業改善に向けてのヒントとなるいくつかの言葉が大変心に残りました。「知りたい意欲をかきたてる」「MOTIVATIONのきっかけとなる

1 ものを根づかせる」「当事者意識でとらえられる様な…」「モードチェンジ」etc

参考にさせていただきます。

2 どちらの先生からも生かせるヒントが多く、自分の授業への取り組みの動機づけになりました。

3 自分の授業に取り入れたいと考えます。

参考になりました。

4 同じ専門分野の中でもなかなか話し合う機会がなく、このようなFDが同じ学科内でも活性化のためにあればと思います。

5 両先生の報告とも自分の授業の参考になった。

6 学生により良く理解させたり、興味を持たせる方法を再考せねばならないと感じた。

私も指導法実習の授業を担当しているので、特に中西先生の授業や学生達の生の声の資料を学生にフィードバックすることで興味を引いて

7 授業の取り組みに対する意欲をかりたてる授業の在り方はとても参考になりました。

導入科目として、実験を見せることは大変参考になる。(篠塚先生)

8 教場の工夫が必要になるが…。

それぞれに工夫されていることが分かった。

- 9 中西先生の熱さに感動しました。授業計画の段階でも教材作成の段階でもたいへんな時間をかけて準備されていることがよくわかりました。また、篠塚先生の命の大切さから始まる体験授業には内容の重さを感じました。
- 10 指導者養成の授業を担当しているので、中西先生のご報告は非常に参考になりました。
- 11 非常に勉強になりました。
- 12 学校が異なっても、教育方法には共通点が多くあることがわかりました。
- 13 全く異なる学科の授業事例を聞くことができて、なかなか良かった。
- 14 自身の授業に直接生かせるヒントをたくさんいただきました。
- 15 中西先生の学生の意見を簡単な紙に書いてもらう方法は、クラスの学生の考えていることが把握できてとてもよいと思います。それを学生内で共有できることは、おそらく学生が一つになるいい方法だと思います。
- 16 篠塚先生のお話も非常におもしろかったです。一つ言えば、学生がより興味をもって参加されるためには、先生からの呼びかけ等で参加型の授業をされればよいと思います。
- 17 熱意を感じ、とても参考になりました。
- 18 中西先生：豊富な資料を用いて説明していただき、よくわかりました。学生の反応もよくわかり自分が担当している演習についても(毎回教えることが多く時間に追われているのが実際のところですが)一人一人の学生の反応を皆で共有するなど工夫できる点もあるかもしれないと感じました。
- 19 篠塚先生：今後の課題に関することについてお話いただいたが、自分の授業でも当てはまる点が多く、それらについてまた後日どのような対応・改善が見られたかもぜひ御報告いただけると、と存じます。
- 20 **推理小説を用いた薬の効果など学生の興味を呼びおこす工夫は**
- 17 学生との関係、科目の目的とその後の方向性をいかにするかを考えることが出来ました。(例を見ることが出来た気がします。)
- 18 非常に参考になった。
- 19 毎回の記録は利用可能なライブラリーになって居ますでしょうか！
- 20 FDという視点以前に、改めて「総合大学に勤めていて良かった」というのが実感です。学生の視点で、お二人の発表を興味深く聞くことができました。

#### 4. 今後の希望 8件

- 1 後のディスカッションでももう少し意見を出しやすいように、テーマを決めるなどがあってもよいのでは？何となく講評をしてもらうようになってしまいがち(それはそれで有用だと思いますが)
- 2 参加出来ない時でも資料をいただけるとありがたい。
- 3 多くの先生の色々な授業の工夫を多く聞きたい。
- 4 体験型講義を体験できないだろうか。
- 5 このまま進めてもすばらしい成果が出るような気がします。
- 6 担当する授業、特に週3回2コマ続きの演習など、準備・授業後のフォロー、レポート採点、スケッチ、図面のチェック等、お互いのやりとりが多いので対応するのも大変ですが、参考になりました。
- 7 様々なバックグラウンド、ツール、シラバス、方針の異なるものを講義に取り入れているものをシリーズとしてピックアップしてほしい。
- 8 ビデオで記録しているということなので、当日参加出来なかった教職員の方にも学内ネット経由で視聴してもらう方法も、今後検討されてはどう

5. 所属

日文  
英文  
教育  
健スポ  
心福  
環境  
食物  
情報  
建築  
音楽  
薬学  
共通  
教研  
事務  
無記入  
計

